

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	
園名	こどもヶ丘保育園野方園

1. 活動テーマ

【テーマ】

石(2歳児)

【テーマの設定理由】

散歩先の公園で探索活動が盛んに行われており、木の実や落ち葉などの自然物や石を拾って集めたり、遊びに取り入れる姿が多くみられた。色々な形や大きさにも興味を持っているので様々な公園に行く機会を利用し、関心を更に深めるため。

2. 活動スケジュール

1. 絵本を通して石への興味を深める。
2. 散歩へ行き、石を探して拾ったり集めたり、虫メガネで覗いたりしてみる。
3. お散歩バッグを作る。
4. 作ったお散歩バッグを持っていき、石を拾って散歩バッグに入れて持ち帰る。
5. 持ち帰った石を使って絵本などを見ながら形や大きさ、色などを比較し、色を塗ったり、紙粘土で石を製作する。
6. 製作したものをを用いて、自由遊びに取り入れて遊ぶ。

3, 探究活動の実践

【活動の内容】 9月 15日(月)～ 2月 20日(金)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

<準備した素材、道具>

ジップロック、絵本、虫メガネ、紙粘土、絵の具

<環境の設定>

- ・持ち帰りたいという姿を見て、ジップロックを使って散歩バッグの製作
- ・見立て遊びをしている姿を見て、イメージが広がる様な絵本の読み聞かせ
- ・虫メガネを使用し、散策活動を充実できるような声掛け
- ・紙粘土や絵の具を使用し色を塗ってイメージの共有や紙粘土でオリジナルの石作り

- ・活動の内容

- 1、公園で遊んでいる際に保育者のところへ見つけた石を持ってくる。
- 2、石で見立て遊びをする様子があったため、絵本を読んで興味を深める。
- 3、散歩で公園に行き、虫メガネでのぞき、気に入ったものを持ち帰る。
- 4、散歩バッグの製作。
- 5、散歩バッグを持っていき、気に入った石を入れて持ち帰る。
- 6、持ち帰った石に色を塗ってイメージをふくらませる。
- 7、紙粘土を使って、オリジナルの石を作る。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- ・見つけた石を保育者に見せる姿があった。保育者が「○○みたいな形だね」と声を掛けると「○○にみえる!」と話し、イメージが広がる様子があった。
- ・見つけた石を「持って帰っていい?」と話す姿があり、散歩バッグを作るとより意欲的に散策活動を楽しんでいた。
- ・絵本で石に絵をかいてあるものがあり、興味を示したため、絵の具を使用して色を塗ると「これは○○」と具体的に話しながら色を付けていた。色を重ねたい様子もあったため、別日にはポスターカラーを用意し違う表現の仕方を楽しんだ。
- ・紙粘土を使用し、石を作ってみると、自分で好きな形を造形出来ることを楽しむ。廊下に展示し、保護者に報告し喜ぶ姿があった。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

・日々の子どもの遊びの様子から、興味を示している石での遊びを深めようと考え、虫メガネや絵の具などを使用した。いつもと違う遊び方ができることで、喜んでいる姿があり、自分達が好きな石という素材を使ったことでより積極的に取り組む姿が見られ、子どもに寄り添った遊びに興味や感心を示してくれ、親睦会で石で遊んだ経緯やどのように発展していったかをドキュメンテーションを見せながら説明をすると、保護者からも肯定的な意見をもらうことができた。子どもの興味や遊びを共有することで、家族の会話の話題になったり、休みの日の遊ぶきっかけになったら良いと思う。

